

野鳥公園と奈良田の ハナモモの比較

5年

ハナモモとは・・・



ハナモモの実（インターネットから）

種類:バラ目バラ科
モモ属

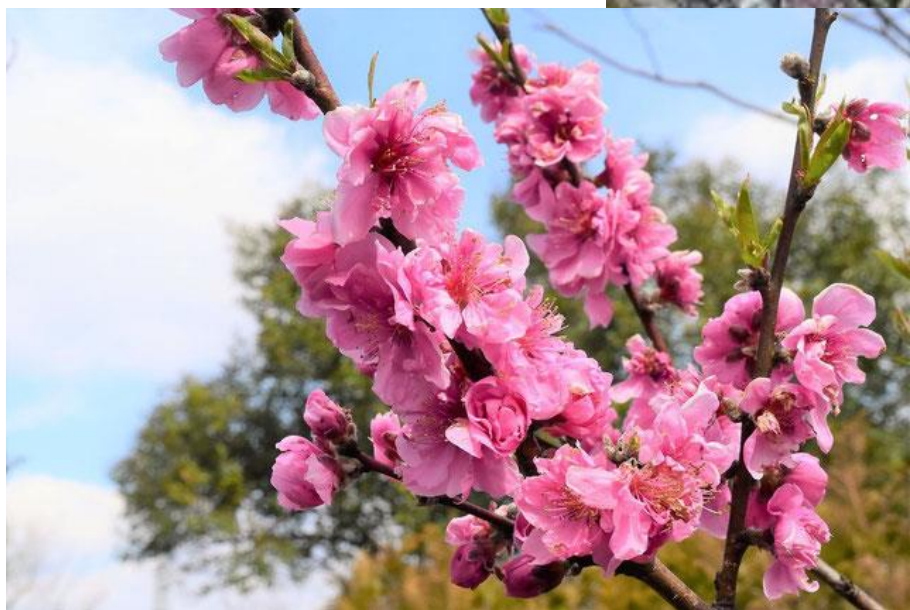
原産地:中国

場所:全都道府県

目的:花の鑑賞

実のなる時期:7、8月

その他:実の色は緑、黄緑、
黄色のように変わる。



ハナモモの花

動機

- ・ 昨年木の実について調べた時にハナモモを見た。しかし、ハナモモがどのように成長していくのかは、分からなかった。
- ・ 私の住んでいる奈良田にも、ハナモモの木があると知った。奈良田と野鳥公園は標高が違うため、気温もちがう。その標高と気温の違いがどうハナモモに関係しているのか調べたい。



**野鳥公園と奈良田のハナモモを比較して、
どう変化しているのか調べる**

- ・ 奈良田の方が標高が高く (823m) 気温が低い。
- ・ 野鳥公園の方が標高が低く (471m) 気温が高い。



予想

- ・ 野鳥公園のハナモモは、奈良田に比べると、
実も大きく、実の成長は早い。

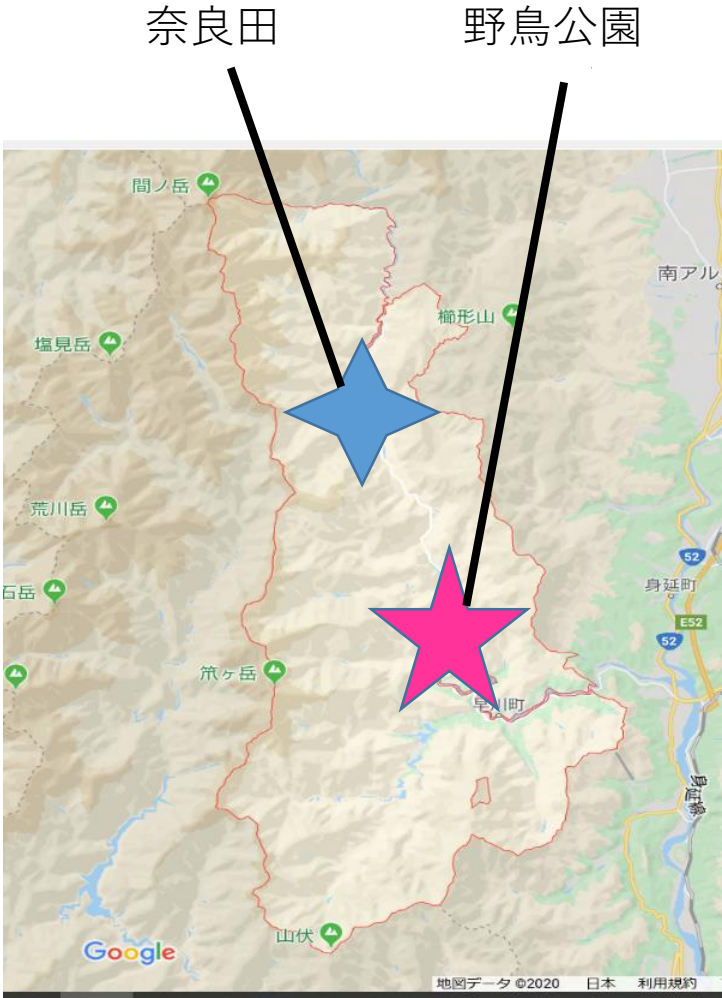
場所:野鳥公園、奈良田



奈良田（八幡社公園）



野鳥公園



奈良田と野鳥公園の位置

調べた方法

期間：

6/24, 7/24, 8/6, 8/10, 8/14, 10/28, 11/4, 11/7,
11/15, 11/29, 12/7, 12/13
の全12回

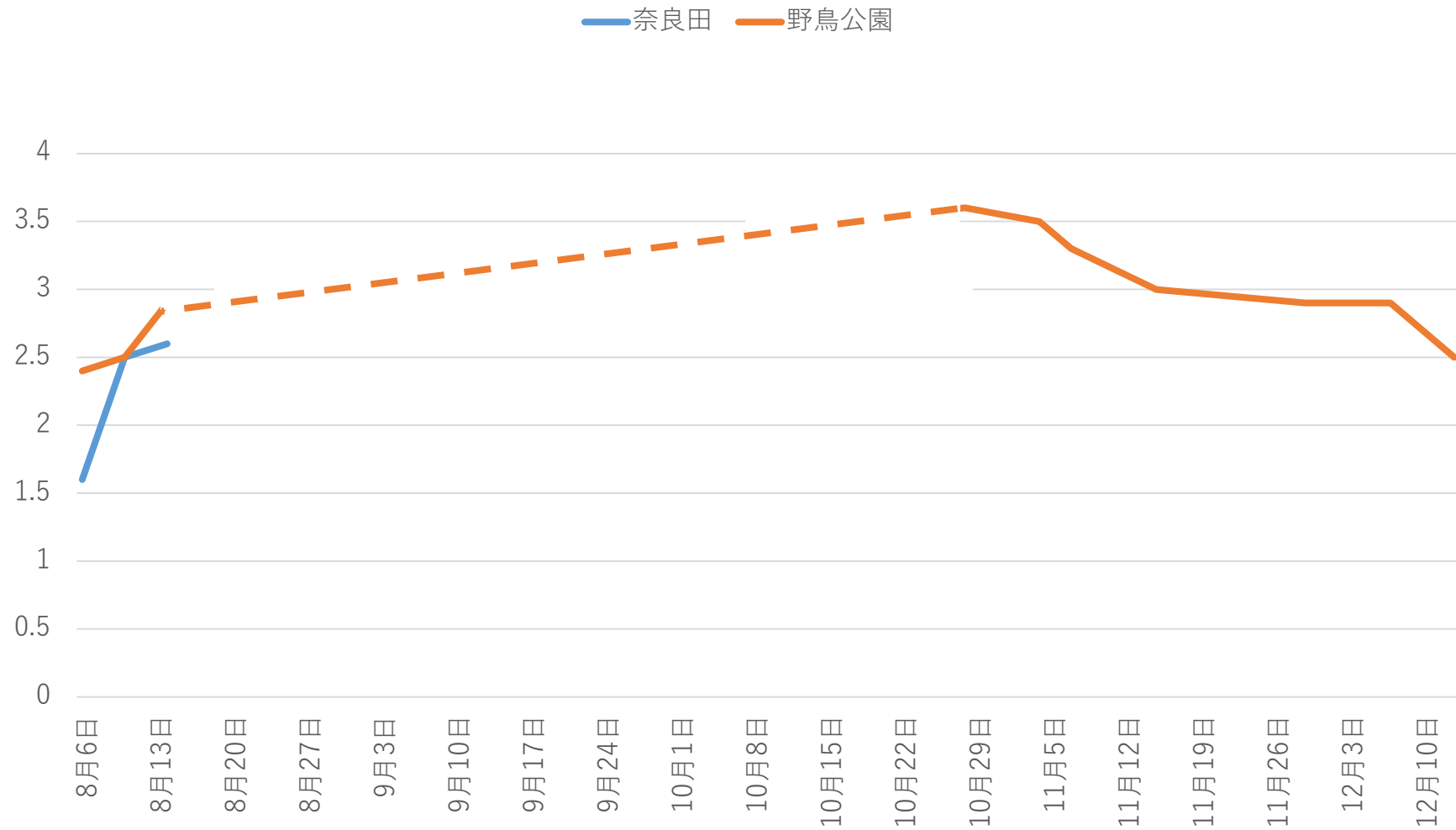
手順

- ・1週間目安で、野鳥公園と奈良田のハナモモをしらべ、ワークシートに記録する。
(色、大きさ、気温、日付、スケッチ、場所、写真)
- ・データ整理表にまとめる。

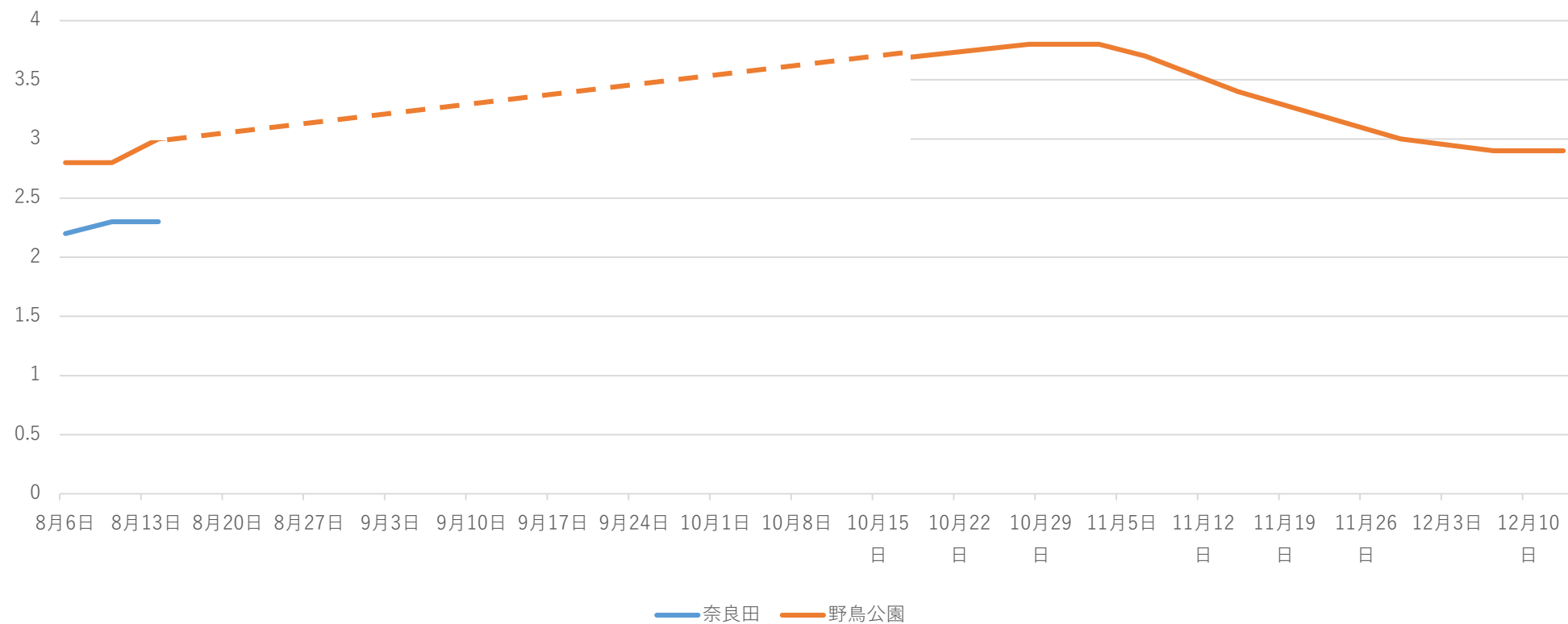


調査の様子

結果①

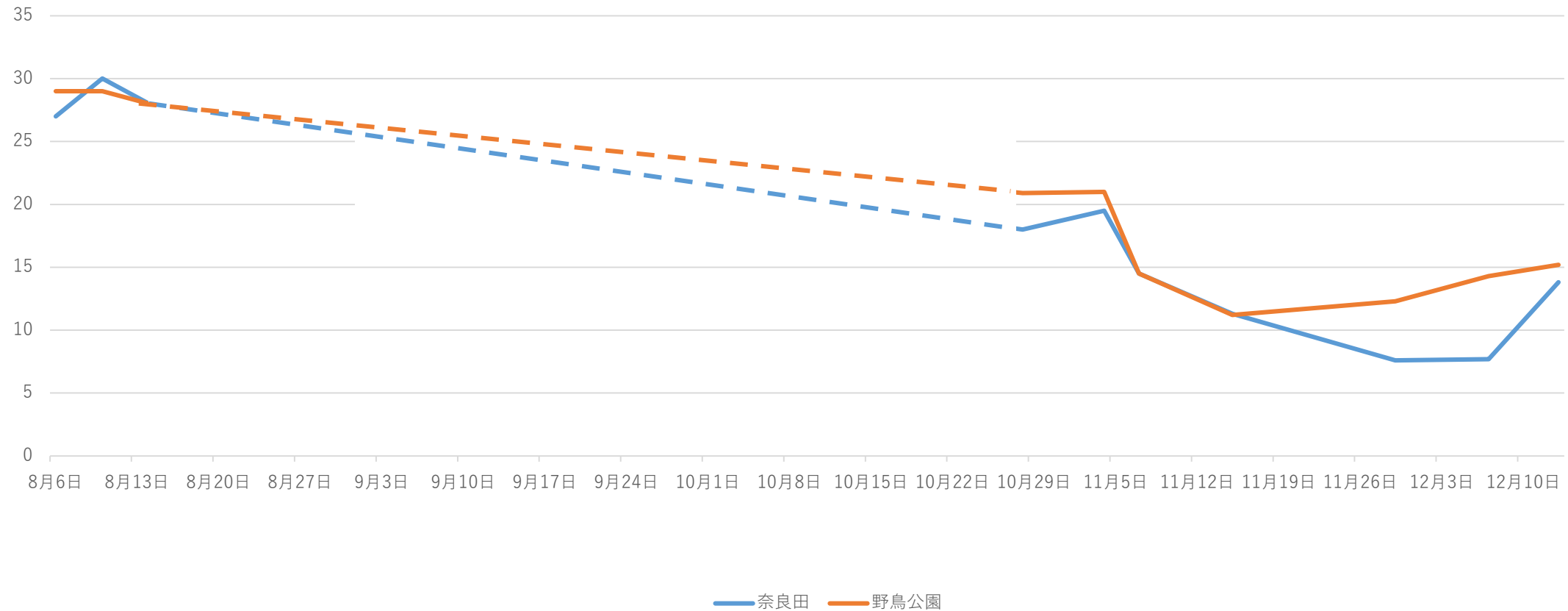


ハナモモの大きさの変化の比較・横の大きさ(2019)



ハナモモの大きさの変化の比較・縦の大きさ(2019)

結果②



奈良田と野鳥公園の気温の比較 (2019)

結果③

ハナモモの色の変化(2019)

	8/6	8/10	8/14	10/28	11/4	11/7	11/15	11/29	12/7	12/13
奈良田	薄い黄 緑	黄緑	黄色に近い 黄緑	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし
野鳥公園	茶色よ りの緑	黄緑	黄緑	茶色の近 い黄色	茶色	こい茶色	こい茶色	灰色みた いな茶色	灰色みた いな茶色	灰色みた いな茶色

8/6~8/14のハナモモ

野鳥公園



奈良田



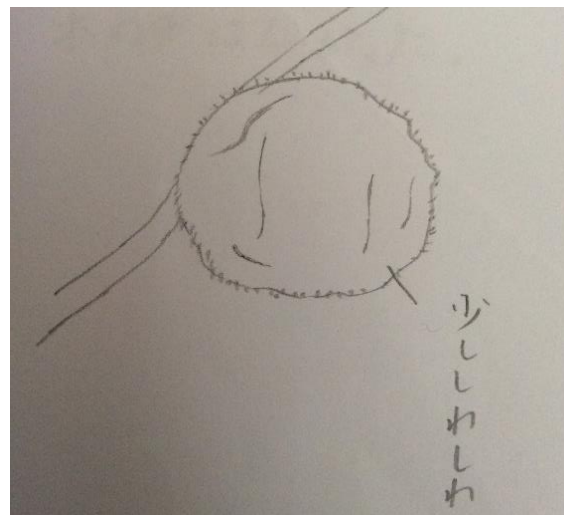
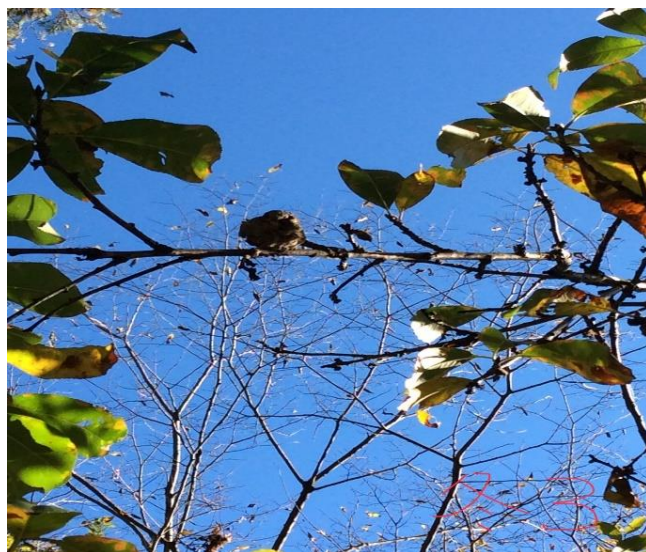
8/6

8/10

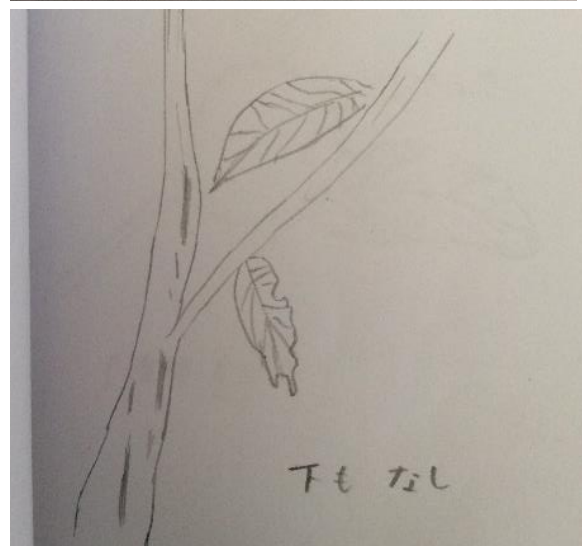
8/14

10/28~11/7のハナモモ

野鳥公園



奈良田



10/28

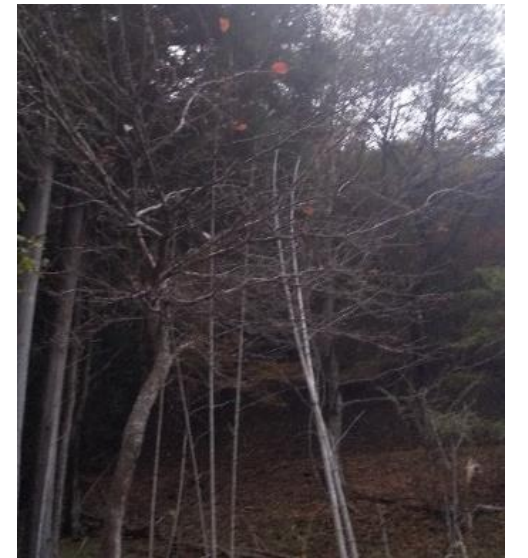
11/4

11/7

11/15~12/13まで
野鳥公園



奈良田



11/15

11/29

12/7

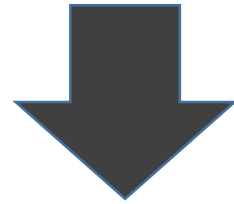
12/13

分かったこと

- 野鳥公園のハナモモの実は奈良田より常に大きかった。
- 8/6~8/14の野鳥公園と奈良田の気温の差は、最大2°Cだった。
- 11/29は、野鳥公園と奈良田の両方で気温が上がっていた。
- 全体的に、野鳥公園の気温が平均2.5°Cほど、奈良田より高かった。

考察

- ・ 野鳥公園のハナモモの実の方が、常に奈良田のハナモモよりも大きかった。
- ・ 全体的に、野鳥公園の気温が平均 2.5°C ほど、奈良田より高かった。



野鳥公園と奈良田のハナモモの成長が毎回違うのは、
主に気温が関係していると考えた。

果樹生産に影響を及ぼす環境要因は、**気温、日射、降水、土壌**などさまざま…

➡野鳥公園と奈良田のハナモモの成長が毎回違うのには、**日射、土質、降水**なども、関係している可能性もあると考えた。



温暖化ウォッチ (7) ～データから読み取る～

温暖化の影響が顕著な果樹生産

農業・生物系特定産業技術研究機構本部 主任研究官 杉浦 俊彦

1. 温暖化に対し脆弱な果樹生産

農業は環境への依存度の高い産業であり、地球温暖化による農業、とりわけ気候への適応範囲が狭い果樹栽培へのインパクトが懸念されている。果樹は北のリンゴ、南のカンキツといったように産地が偏在しており、北海道から沖縄まで栽培地が広がっている水稻や主要な野菜とは対照的である。果樹生産に影響を及ぼす環境要因は、気温、日射、降水、土壌などさまざまであるが、リンゴ地帯、カンキツ地帯が形成された主因は気温の相違である。これは、水稻などの一年生の作物は栽培期間が短いため、それぞれの地域での適温期間中に栽培できるように播種期を調整できるのに対し、樹木である果樹は作期調節が困難であること

すなわち、果樹は他の作物と比べて温暖化の影響が著しい上に、他の作物より10年以上早くからその対策をとる必要がある。さらに、果樹は、青森のリンゴ、愛媛のミカンなど地域ブランドが確立しており、その点からも単純な植え替えは難しい。

2. 栽培適地が大きく北上する可能性も

今後温暖化が進むと果樹産地はどのようになるか、わが国で最も生産量の多い果樹であるウンシュウミカンについてシミュレーションした結果を図1に示した。ウンシュウミカン栽培に適する地域に係る年平均気温として、農林水産省が「果樹農業振興基本方針」の中で示しているのは、15～18℃の範囲である。この温度域は、現在、南関東

反省

- 夏に行った観察を始めるのが遅かったので、データが少なくなってしまった。来年は、もう少し早く始めたい。
- 写真のデータがなくなってしまうことがあったので、しっかり管理するようにしたい。
- 毎回、実の数やその時の日当たり具合を調べておくと、新たな発見につながると思った。

感想

- ◆ 野鳥公園の気温は、奈良田よりも約2.5℃高かったと詳しく分かってうれしかった。
- ◆ ハナモモの実の変化は毎回違っていることに、すごくおどろいた。



**来年は、気温や日照時間などを中心に
ハナモモの調査を続けたい。**

参考文献・参考サイト

- ・「カラーチャート」視覚デザイン研究所 著・株式会社視覚デザイン研究所 発行・2000年
- ・「Google Earth」(<https://www.google.co.jp/intl/ja/earth>)
- ・「[桃/もも/モモ]産地（都道府県） | 総合ランキング（生産量・収穫量）気温（気温・降水量等）」ジャパंकローズ
(<https:japancrops.com/cros/peach/prefectures/>)
- ・「ハナモモ-Wikipedia-」(<https://ja.Wikipedia.crg>)
- ・「ハナモモを食べる-オトコ中村の楽しい毎日-」
(<https://otokonakamura.com/hanamomo>)
- ・「地球温暖化の影響が顕著な果樹生産」
(<https://www.cger.nies.go.jp/publications/news/series/watch/6-7.pdf>)
- ・「ぶらり旅 行ってみたい、歩いてみたい、気ままに出かけてみたい」
(<http://hitorikimamani.cocolog-nifty.com/buraritabi/2018/04/post-4f29.html>)
- ・「ハナモモー庭木図鑑 植木ペディア」
(<https://www.uekipedia.jp/%E8%90%BD%E8%91%89%E5%BA%83%E8%91%89%E6%A8%B9%E2%91%A2/>)